

相模原構想区域における過剰な病床機能への転換について

1 医療法及び国通知（H30. 2. 7 地域医療構想の進め方について）における考え方

- 都道府県は、公的医療機関等2025プラン、病床機能報告の結果等から、過剰な病床機能に転換しようとする医療機関の計画を把握した場合には、速やかに、当該医療機関に対し、地域医療構想調整会議への出席と、病床機能を転換する理由についての説明を求めること。
- 病床機能報告において、6年後の病床機能を、構想区域で過剰な病床機能に転換する旨の報告をした医療機関に対して、速やかに、
 - ① 都道府県への理由書提出を求める。
 - ② 理由書の理由等が十分でない場合は、地域医療構想調整会議での協議への参加を求める
 - ③ 調整会議での協議が整わない場合は、都道府県医療審議会での理由等の説明を求める

2 相模原構想区域の病床の状況（平成29年度病床機能報告結果）

構想区域	病床機能区分	2017(H29)病床機能報告結果(A)	2025年の必要病床数(B)	必要病床数との比較(過剰・不足)(A-B)	過剰な病床機能
相模原	高度急性期	594	808	△ 214	
	急性期	2,719	2,305	414	→ 過剰
	回復期	330	1,710	△ 1,380	
	慢性期	2,841	2,413	428	→ 過剰
	休棟中等	227	-		
	合計	6,711	7,236		

3 過剰な病床機能への転換を検討している医療機関（2025対応方針より）

病院名		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	理由・転換時期（予定）
医療法人財団明理会相原病院	2018				126床	126床	<ul style="list-style-type: none"> ・新築移転を考えている ・慢性期病棟・障害者病棟→急性期病棟へ ・配分があれば増床したい ・時期：2023年から2025年 ・現病院の経年劣化のため
	2025		126床			126床	
	差	-	+126床	-	△126床	-	
社会福祉法人ワグン福祉会総合相模更生病院	2018		124床	44床	57床	225床	<ul style="list-style-type: none"> ・介護療養型医療施設57床を急性期一般病棟へ転換。改修工事を実施。 ・調整会議で正式決議後、具体的な日程を決め、入院患者への説明を実施（理由） ①二次救急医療体制の当番病院として機能充実を図る。現在、市内で時として困難を生じている脳神経外科領域の患者についても、増床した病床を利用した受け入れ態勢の構築を計画 ②転換により、地域の急性期～回復期の患者ニーズに柔軟に対応でき、既存の地域包括ケア病棟の活用と合わせて地域医療の需要に貢献できる
	2025		181床	44床		225床	
	差	-	+57床	-	△57床	-	

(参考) 増床した場合は過剰な病床機能の増となる医療機関

病院名		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	理由・転換時期（予定）
医療法人社団晃友会 晃友脳神経外科眼科病院	2018		40床			40床	<ul style="list-style-type: none"> 増床を含め地域住民や患者が使いやすい医療を考えたい 予定時期：2025年まで
	2025		50床	50床	50床	150床	
	差	-	+10床	+50床	+50床	+110床	
医療法人社団仁恵会 黒河内病院	2018		51床			51床	51床1病棟しかなく、手術後の患者を受け入れる病棟が必要。 2025年を目標に49床の増床が出来るよう、増改築や建替えを検討中
	2025		50床		50床	100床	
	差	-	△1床	-	+50床	+49床	

4 今後の進め方について

平成30年 10～11月	第2回地域医療構想調整会議 <ul style="list-style-type: none"> 「2025年に向けた対応方針」等に基づく該当医療機関について県から報告、意見聴取
平成30年10月～ 平成31年1月	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、転換計画の詳細について県から医療機関に確認、調整等 各地域で医療機関等が参加する意見交換の場（県設置のワーキンググループ、病院協会主催の意見交換会等）において、意見交換
平成31年 1～2月	第3回地域医療構想調整会議 <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、当該医療機関の出席、説明を依頼 調整会議としての意見を確認